

WAJDA AFTER IMAGES

インターメディア芸術、政治的美学、そして映画のアフターライフ

アンジェイ・ワイダ生誕 100 周年記念国際シンポジウム

2026 年 11 月 21 日（土）～22 日（日）

概要 / Overview

アンジェイ・ワイダの生誕 100 周年を記念して開催される本国際シンポジウムでは、ワイダをポーランドおよびヨーロッパ映画史を代表する映画監督としてのみならず、映画、文学、演劇、視覚芸術、政治史、アーカイブ実践を横断して活動したインターメディア的な芸術家として捉え直します。

ワイダの映画は、文学作品の翻案、絵画的な画面構成、舞台美術的な想像力、そして歴史的経験を視覚的・上演的形式へと変換する試みに深く根差しています。その芸術言語は、言葉とイメージ、舞台とスクリーン、ドキュメンタリーとフィクション、個人の記憶と集合的な歴史のあいだに生じる関係を探究するものでした。

本シンポジウムは、ワイダの作品を映画史という枠組みのみに限定するのではなく、芸術形式、政治的美学、文化的記憶、そして異なるメディアのあいだを移動するイメージをめぐる、より広範な議論のなかに位置づけます。

タイトルの「WAJDA AFTER IMAGES」は、ワイダの映画が残した「残像」ともいえるイメージの持続的な力と、映画そのものの「アフターライフ」という二つの意味を重ねています。すなわち、ワイダのイメージが、それを生み出した当初の歴史的状況を超えて生き続けること、そして映画が演劇、視覚芸術、展覧会、テレビ、デジタルメディア、ビデオゲーム、現代の記憶文化へと展開し、新たなかたちで受け継がれていく過程を指します。

本シンポジウムでは、ワイダの作品を直接論じる発表に加え、その映画を出発点として、ポーランド、ヨーロッパ、日本、さらにはグローバルな視覚文化について考察する提案も歓迎します。とりわけ、映画と他のメディア、文化機関、アーカイブ、政治史との関係を検討する学際的なアプローチを募集します。

発表論文募集 / Call for Papers

募集要項

応募締切：2026 年 8 月 23 日（日）

採択通知：2026 年 8 月下旬～9 月上旬

応募書類は、下記のメールアドレスまでお送りください。

pachciarek [at] aoni.waseda.jp

※ [at] を「@」に置き換えてください。

メール件名

Wajda After Images CFP – [ローマ字の姓 / Surname]

提出書類

以下の情報を、英語または日本語でご提出ください。

- 発表タイトル
- 発表要旨
英語 250～300 語、または日本語 800～1000 字程度
- 略歴
英語 100～150 語、または日本語 300～400 字程度
- 所属機関（該当する場合）
- 連絡先メールアドレス
- 発表が関連するテーマ領域（任意）

発表時間は **20 分** を予定しており、その後に質疑応答を行います。

応募書類は英語・日本語のいずれでも提出できます。採択後、プログラムや参加者向け資料の作成に必要な情報について、別途英訳または和訳の提出をお願いする場合があります。

募集分野

映画学、演劇学、文学研究、美術史、メディア研究、スラヴ学、日本学、文化研究、歴史学、博物館学、ゲーム研究、および関連分野の研究者からの提案を広く募集します。

また、アンジェイ・ワイダの遺産、あるいは映画、インターメディア性、視覚文化、文化的記憶、政治的美学をめぐる、より広範な問題に取り組むキュレーター、アーキビスト、芸術家、翻訳者、映画制作者、その他の文化実践者からの提案も歓迎します。

言語 / Language

本シンポジウムの使用言語は、**原則として英語**です。

ただし、**日本語による発表も可能です**。日本語で発表する場合は、参加者が発表内容を共有できるよう、以下をご用意ください。

- 英語による発表要旨の事前提出
- 当日配布用の英語による発表要旨またはハンドアウト

英語による発表要旨の形式および提出期限については、採択通知の際にご案内します。

アーカイブ・展示プログラム / Archival & Exhibition Component

学術プログラムとあわせて、アンジェイ・ワイダの活動に関連する資料を紹介する小規模なアーカイブ展示を予定しています。

本展示では、ワイダの芸術実践における物質的側面と、映画、文学、演劇、視覚芸術などを横断するインターメディア的側面に焦点を当てます。

会場 / Venue

早稲田大学 早稲田キャンパス 大隈記念講堂 大講堂

Okuma Auditorium – Main Auditorium

Waseda Campus, Waseda University

対象 / Prospective Audience

学部生、大学院生、教員、研究者、文化関係者、その他本シンポジウムのテーマに関心を持つ方

Students, graduate students, faculty members, researchers, cultural practitioners, and members of the public interested in the symposium's themes

主催 / Organizer

早稲田大学 高等研究所

Waseda Institute for Advanced Study (WIAS)

共催 / Co-organizers

クラクフ日本美術技術博物館「マンガ」

Manggha Museum of Japanese Art and Technology

駐日ポーランド共和国大使館

Embassy of the Republic of Poland in Tokyo

協力 / Support

国立映画アーカイブ (NFAJ)

National Film Archive of Japan (NFAJ)

日本スラヴ学研究会

The Japan Society for the Study of Slavic Languages and Literatures (JSSSLL)

メディアパートナー / Media Partner

Culture.pl

助成 / Funding

本シンポジウムは、アンジェイ・ワイダ生誕 100 周年を記念する国際プロジェクト「Wajda After Images」の一環として開催されます。本プロジェクトは、日本で開催される国際シンポジウムと関連展示から構成されます。

本事業は、ポーランド共和国文化・国家遺産大臣による「Inspiring Culture 2026–2027」プログラムの助成を受けて実施されます。

企画 / Convenor

パフチャレク パヴェウ / PACHCIAREK Pawel

早稲田大学 高等研究所 講師

Assistant Professor, Waseda Institute for Advanced Study